

経営比較分析表

和歌山県 紀の川市

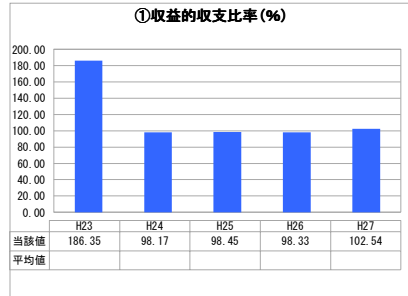
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.71	100.00	3,900

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
65,318	228.21	286.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
463	0.17	2,723.53

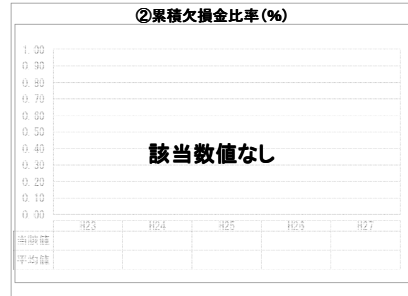
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

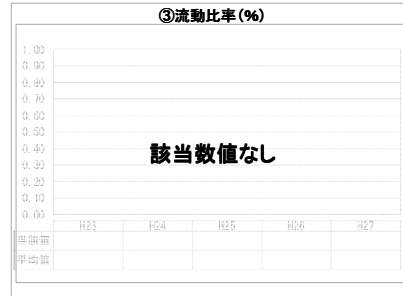
1. 経営の健全性・効率性



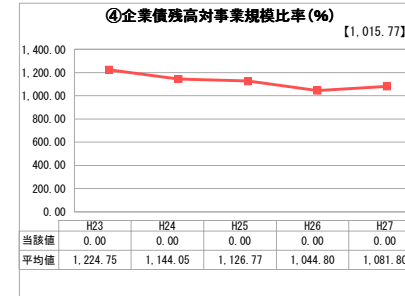
「単年度の収支」



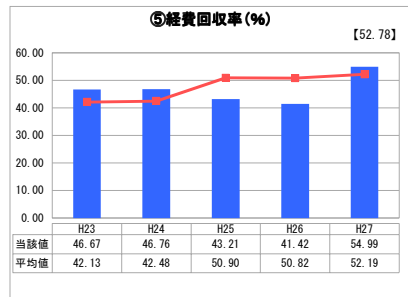
「累積欠損」



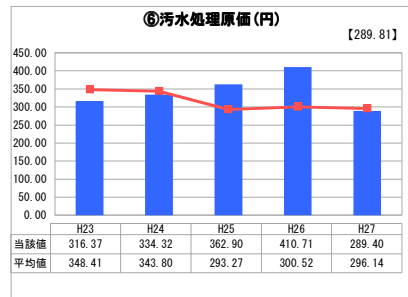
「支払能力」



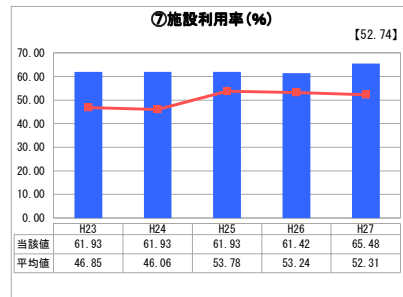
「債務残高」



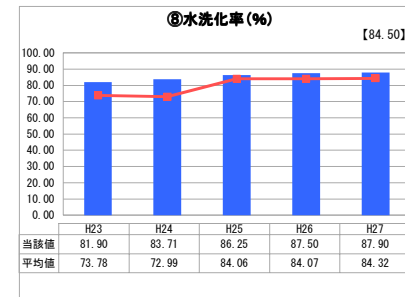
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

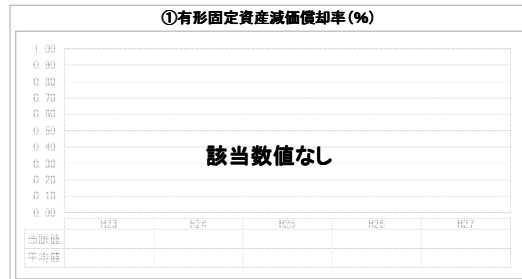


「施設の効率性」

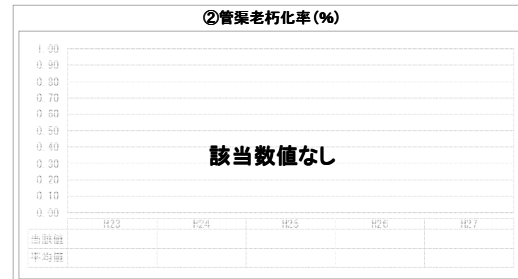


「使用料対象の捕捉」

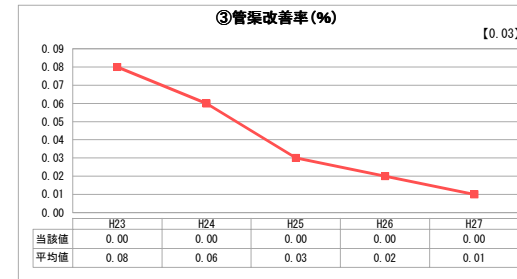
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度決算において農業集落排水事業収益では、使用料が総収益のわずか19%となっています。維持管理費や地方債の償還金を使用料だけでは賄いきれないため一般会計からの繰入金で経営を支えている状況です。支出減、収入増につながる取組が必要です。

2. 老朽化の状況について

西山・善田の2つの処理区のうち、西山処理区は、平成10年度供用開始で18年が経過しています。施設の長寿命化を図るため、最適整備構想策定を平成29年度に策定し平成30年度から老朽化した施設の修繕に取りかかります。

全体総括

経営改善に向けて使用料収入の増加、維持管理費の削減を図る取組が必要です。一方で老朽化した施設の修繕も必要ことから、効率的に改善に取り組めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。